

千葉県社保協通信

2024年度 No.2 2024年 6月 21日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2022@themis.ocn.ne.jp

～安心して暮らせる地域めざす～

住民運動の歴史と良心の結晶 山武地域社保協結成

山武地域は、房総半島の九十九里浜を抱く地域です。さまざまな住民運動・各団体の運動の歴史が刻まれています。戦後の九十九里浜反基地闘争はじめ、近年では、東金病院存続・充実、大網・成東病院の統合反対、山武地域の医療体制充実を求める運動が大きく展開されてきました。こうした住民運動の歴史の上に立って、山武地域社保協を6月12日に結成。県内で17番目の地域社保協結成です。

きっかけは、昨年10月に発足した隣接する海匝地域社保協の結成です。東金市・山武市・九十九里町・横芝光町・芝山町の2市3町を活動対象とし、すでに結成されている大網白里市の社保協とも力を合わせ、安心して暮らせる山武地域を目指して奮闘していきます。

5市町合わせて人口は約15万8千人、1平方キロ当たり人口が、県全体平均約1,200人に比べ、約430人という、畑と田んぼ・山林が広がる農村地域です。

この地域で、地域社保協が結成される意義は、一つ一つの自治体の運動の輪が小さくても、5市町がまとまって運動することによって、各市町に対する働きかけができる組織が確立されることです。地域社保協活動を通して、社会保障の仕組みを学び、生活と地域、社会を見直し、出来るところから運動を進めていくことが、安心して暮らせる山武地域を作っていくことにつながります。



課題は鮮明 社保キャラバン 全力で！

結成総会には16名の参加がありました。海匝社保協長平弘事務局長がミニ講演。竹内敏昭県社保協事務局長、小林順一海匝社保協会長、小林周二大網白里の社会保障をよくする会会長が激励と連帯の挨拶。活動方針案、予算案、役員体制案が提案され、質疑討論。全提案を拍手で承認。会長に野老貞一氏、事務局長に河嶋寿夫氏を選出しました。

山武地域での課題は鮮明です。山武郡市内の人口減少に伴う小中学校の統廃合問題や、地域交通、買い物弱者対策など住みよい環境をどう作っていくのが切実な課題となっています。地域医療では、東千葉メディカルセンターの存続と充実を県の責任で、進めていくことが重要であるにもかかわらず、県補助金の予定もなく、経営存続が喫緊の課題となっており、どう地域医療の充実を図っていくのかが問われています。学校給食では、すでに無償化されている横芝光町・芝山町・九十九里町に続き、東金市・山武市で無償化し、山武郡内は全て無償とすることが求められています。

当面する「社会保障充実を求める自治体キャラバン」で、こうした切実な課題の改善・充実をめざし、全力をあげることを確認しました。

2024年 社会保障の充実を求める自治体要請キャラバン事前学習会

- とき 7月 11日(木) 15:15～17:30 受付 15:05
- ところ 自治体福祉センター 4階 第1・2会議室(オンライン併用)

社会保障制度のあり方を自治体とともに考える立場から、切実な暮らしの実態を明らかにし、施策の改善充実と住民のいのちと暮らしを守る自治体本来の役割の発揮を求めるキャラバン行動です。そのための事前学習と意思統一を行います。ぜひご参加ください。⇒別添のチラシ・申し込み用紙をご活用ください。

★上記のほかに地域社保協での事前学習会を予定しています。